

## 地域・在宅看護論実習

### 目的

地域で暮らすあらゆる発達段階や健康段階にある対象の生活背景や地域における保健・医療活動を理解し、健康の保持増進や健康状態に合わせた在宅看護を実践するための基礎的能力を養う。

### 目標

- 1 人々の暮らしを知り、対象の発達段階や健康段階による身体的・心理的・社会的な状況を理解できる。
- 2 地域の保健・医療を支える施設の特徴と看護の役割を理解できる。
- 3 在宅における健康障害のある対象への看護活動の場を理解し、対象の意思を尊重する看護を理解できる。
- 4 対象の障害に応じて切れ目のない保健活動や看護活動の場を理解し、対象の意思を尊重する看護を理解できる。
- 5 多職種連携のあり方を理解し、社会資源の活用と地域における看護の役割について理解できる。
- 6 専門職として倫理観をもち、責任ある行動がとれる。
- 7 学習の学びと事故の課題が明確にできる。

## 地域・在宅看護論実習Ⅰ

〔2単位 90時間〕

### 目的

在宅で療養する対象（療養者・家族）とその対象を取り巻く環境を理解し、対象の健康状態や生活背景に応じた看護が実践できるための基礎的能力を養う。

### 目標

- 1 訪問看護ステーションの概況及び特徴を知り、役割・機能が理解できる。
  - 1) 地域の特性をふまえた訪問看護ステーションの特徴、利用の仕組みや手続きが理解できる。
  - 2) 訪問看護ステーションの利用状況、対象の概況からニーズを把握し、訪問看護師の役割を理解できる。
- 2 訪問看護を受けている対象の状況と生活状況に合わせた看護の必要性が理解できる。
  - 1) 対象の身体的・精神的・社会的(住居環境・介護状況)状況が理解できる。

- 2) 対象の療養生活には、健康障害や多様な家族形態や価値観、生活背景が影響することを理解できる。
  - 3) 療養者の健康状態や個別性に合わせた援助の工夫や配慮が理解できる。
  - 4) 家族の健康状態や介護状況に合わせた援助の必要性が理解できる。
- 3 訪問看護を受けている対象を尊重した援助関係形成の重要性が理解できる。
- 1) 対象の状態や反応の意味を、生活習慣や価値観、現在の健康状態からありのままに理解することができる。
  - 2) 対象の意思を尊重する関わりが理解できる。
- 4 訪問看護を受けている対象の状態に応じた安全管理の必要性が理解できる。
- 5 在宅で療養する対象の生活の質（QOL）の維持・向上のための社会資源の利用の実際や在宅看護における多職種との連携を理解できる。
- 1) 対象の社会資源利用の実際を知り、様々な社会資源の支援を受けながら在宅での療養生活が支えられていることが理解できる。
  - 2) 施設内看護と訪問看護との連携や継続看護の必要性を理解できる。
  - 3) 対象の生活に必要な関係職種との連携・協働における訪問看護の役割について理解できる。

#### 実習時期及び期間

2～3年次 11日間

## 地域・在宅看護論実習Ⅱ

〔2単位 90時間〕

### 目的

地域で暮らすあらゆる発達段階や健康状態にある対象者の様々な暮らし方を知り、地域の支援体制の実際を理解する。また、人々の様々な暮らしの現状や支援の実際から今後の看護のあり方について学ぶ。

### 市町村(地域保健)に関する実習

#### 目的

地域のあらゆる発達段階および健康段階にある対象への健康保持増進に向けた保健活動が理解できる。

#### 目標

- 1 市町村における対象の生活環境・健康課題を理解できる。
- 2 市町村における地域保健の概況および役割機能や保健師の活動と役割を理解できる。
  - 1) 地域保健の概況を知り、市町村における役割機能を理解できる。
  - 2) 参加した保健事業から発達段階に合わせた保健師の役割を理解できる。
- 3 関係機関との連携・協働の在り方を理解できる。
  - 1) 各関係機関・職種との連携の実際を知り、対象の健康保持増進のための切れ目のない支援の必要性を理解できる。
  - 2) 連携・協働における看護職の役割について明らかにすることができる。

## 子ども子育て支援に関する実習

### 目的

小児とその保護者の暮らしを知り、地域で行われる育児や発達を促す子育て支援活動を学ぶ。

### 目標

- 1 子ども子育て支援施設を利用する目的を知り、施設の役割と機能を理解できる。
- 2 子ども子育て支援施設を利用している小児の特性と健康的側面や精神的側面の課題を知り、子育てをする家族が抱える問題や課題に合わせた援助の必要性を理解できる。
  - 1) 事業を利用する小児の特徴(身体・心理)を理解できる。
  - 2) 子育てをする家族が抱える思いや問題・課題を理解できる。
  - 3) 小児とその家族の健康な暮らしを支える援助を理解できる。

## 地域包括支援センターに関する実習

### 目的

高齢者の暮らしを地域でサポートするための地域包括ケアシステムの実際を理解する。また、地域で健康問題を抱えながら生活する高齢者とその家族の現状を理解し、高齢者の在宅療養における看護の役割を考察する。

### 目標

- 1 地域包括支援センターを利用する対象や利用する目的を知り、支援の必要性と問題解決の方法を把握することができる。
- 2 地域包括支援センターの役割と地域における看護のあり方について説明することができる。

## <地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設実習>

### 目標

- 1 介護保健の役割と看護の役割を理解できる。
- 2 地域で暮らす対象の健康の保持と QOL の維持・拡大を図るための生活支援の実際を理解できる。

#### <地域包括ケアシステムにおける介護老人福祉施設>

##### 目標

- 1 介護老人福祉施設の特徴と役割を理解できる。
- 2 施設を利用する対象の人生経験や価値観、家族背景を理解し、対象が抱える問題や課題に目を向け、対象の健康の保持と生活を支えるための援助を実施できる。
  - 1) 対象の価値観や個別性を尊重した日常生活援助が実施できる。
  - 2) 対象の加齢変化から予測・予防看護の必要性を理解し、事故防止の援助が実施できる。
  - 3) 対象の抱える家族背景における問題や課題を理解できる。
- 3 対象の安心した暮らしを支えるための多職種連携の必要性を理解できる。

##### 実習時期及び期間

3年次 12日間